

事例 A

県公共関与産業廃棄物一般廃棄物最終処分場

評価項目	
(1) 法規制該当事項及びその対応	
(2) 土地利用	
(3) 水象	
(4) 生態系 ※本評価は、文献調査及び短期間の現地調査に基づくものであり、今後詳細な調査を行った場合、評価が異なる場合がある。	
(5) 地質状況	
(6) 施設の概要及び機能性	
(7) 地盤の安定性	
(8) 施工性	
(9) 跡地利用性	
(10) 経済性	①概算工事費 (カッコ内は m <sup>3</sup> 単価)
	②推定総工事費 (①+他の候補地と比較して、特異な工事費) (カッコ内は m <sup>3</sup> 単価)
	③推定総工事費 (①+②+関係機関等との協議によって発生する可能性のある工事費)

事例 B

県公共関与産業廃棄物一般廃棄物最終処分場

評価項目			候補地評価方法
大項目	中項目	小項目	
自然条件	地形・地質	地すべり・崩壊地形	地すべりブロック、斜面崩壊跡の有無により評価
		リニアメント	リニアメントの有無により評価
		地質区分	地質による地すべり素因の有無により評価
	動植物	植生自然度	各候補地の植生自然度について区分し評価
	水文	洪水流出	洪水流出量により評価。
土砂流出		発生の可能性を渓床勾配15°以上の流域面積	
社会条件	利水・地下水	農地	下流農地と候補地の距離により評価。
		漁業権	漁業権の有無により評価
		未給水区域住宅	未給水区域住宅と候補地の距離により評価。
	計画地に隣接・近接する住宅等の分布	搬入道路に隣接する住宅等の戸数	想定される搬入道路ルートに隣接する住宅戸数により評価。
		計画施設と住宅の距離	直近住宅等との位置関係を距離により評価。
施設配置の適性	関連施設整備	確保できる平坦部面積により評価。	
	処分場の施設配置	計画面(設計)及び施工面等により評価。	
環境条件	文化的景観	眺望景観	熊野古道、ラムサール条約登録区域等からの視認性により評価。
	環境負荷	車両走行による環境負荷	候補地別の車両走行による年間CO <sub>2</sub> 排出量により評価。
	搬入道路	搬入道路建設に伴う環境影響	国・県道から新設・改修の必要な距離により評価

事例 C

自治体一般廃棄物中間処理施設

区分		詳細評価項目		候補地の状況				
大項目	小項目	項目	No.	最小値	平均値	最大値		
用地としての条件	用地面積	・現状で必要面積が確保可能か	1	23,170	24,859	25,000		
		・地下水位の高低 ・井戸によるプラント用水確保の可否 (地形・地質等から地下水利用の可能性を評価する)	・井戸取水困難	2	井戸取水困難	深井戸取水可	浅井戸取水可	
			・地下水利用への影響	3	影響大	影響小	影響無	
	土地利用規制の有無	・農林関係補助・交付金等事業対象地の有無 ・補助対象施設(水路等)の有無	4	二事業	一事業	なし		
		・幹線道路までの距離	5	0 m	215 m	1,500 m		
	自然環境の保全	生物への影響	・伊那市環境基本計画報告書による希少種の分布状況	動物	6	有	飛来	無
				植物	7	現地有	隣接有	無
			・長野県レッドデータブックに記載された希少種の分布状況	動物	8	有	飛来	無
				植物	9	現地有	隣接有	無
		・地域で保護育成している植物群落等	動物	10	有	飛来	無	
植物			11	現地有	隣接有	無		
保安林		・候補地及び隣接地の指定状況による評価 (水源かん養保安林)	12	現地有	隣接有	無		
住宅群への影響		・住宅群との距離 ※ 候補地中心点(対角線交点)を起点とし、最も近い住宅から順に数えて10番目の住宅との距離により評価。	・最も近い住宅までの距離	13	153 m	298 m	1,290 m	
			・一定距離範囲内の住宅戸数	14	85 m	221 m	615 m	
		・周辺宅地化傾向 (候補地周辺の用途指定状況から、候補地が宅地化される危険度を評価する)	0~500m	15	0 戸	61 戸	206 戸	
	501m~1000m		16	3 戸	500 戸	以上		
	用途地域指定状況	・用途地域	17	1地点	12地点			
	幹線道路の状況	・生活道路に与える影響	18	影響大	影響中	影響小		
・通園・通学路に与える影響		19	影響大	影響中	影響小			

区分		詳細評価項目		候補地の状況																													
大項目	小項目	項目	No.	最小	平均	最大																											
生活環境の保全	近隣の廃棄物処理施設	・近隣の廃棄物処理施設の有無 ※ 候補地所在区内若しくは半径2km以内にある廃棄物処理施設の数により評価。 ※ 同様に扱うべき施設を含む	20																														
		急傾斜地	・対象地及び隣接地における急傾斜地形の有無・影響の程度	21	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">県指定危険区域</th> </tr> <tr> <td>現地有</td> <td>隣接有</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>1地点</td> <td>12地点</td> </tr> <tr> <th colspan="3">市指定危険区域</th> </tr> <tr> <td>現地有</td> <td>隣接有</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>2地点</td> <td>11地点</td> </tr> <tr> <th colspan="3">市指定区域に準ずる区域</th> </tr> <tr> <td>現地有</td> <td>隣接有</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>なし</td> <td>13地点</td> </tr> </table>			県指定危険区域			現地有	隣接有	無	なし	1地点	12地点	市指定危険区域			現地有	隣接有	無	なし	2地点	11地点	市指定区域に準ずる区域			現地有	隣接有	無	なし	なし
	県指定危険区域																																
	現地有	隣接有	無																														
	なし	1地点	12地点																														
	市指定危険区域																																
	現地有	隣接有	無																														
	なし	2地点	11地点																														
	市指定区域に準ずる区域																																
	現地有	隣接有	無																														
なし	なし	13地点																															
防災面への配慮	活断層の有無	・近隣の活断層の有無・距離を評価	22	有		無																											
	保安林	・候補地及び隣接地における「土砂流出防備保安林」指定の有無	23	なし	隣接有	無																											
	その他	・河川の増水による浸水想定区域、その他災害に関する危険度	24	指定区域	準区域	無																											
			1地点	2地点	10地点																												
調和の施設との位置関係	教育・福祉施設等との位置関係	保育園・幼稚園・学校までの距離	25	685 m	1,095 m	2,575 m																											
		病院・福祉施設までの距離(診療所を含む)	26	108 m	1,309 m	3,575 m																											
歴史的財産	遺跡・史跡等との位置関係	・埋蔵文化財の有無・位置関係	27	全面に有	一部に有	無																											
		・指定文化財		1地点	2地点	10地点																											
経済性	施設建設コスト	用地取得費・造成費	28	207 百万円	412 百万円	1,917 百万円																											
		取付道路費	29	0 百万円	60 百万円	328 百万円																											
		施設建設費等	30	0 百万円	5 百万円	112 百万円																											
その他	景観	・主要眺望点からの景観に与える影響	31	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">景観住民協定区域</th> </tr> <tr> <td>区域内</td> <td></td> <td>区域外</td> </tr> <tr> <td>有</td> <td></td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>9地点</td> <td></td> <td>4地点</td> </tr> </table>			景観住民協定区域			区域内		区域外	有		無	9地点		4地点															
			景観住民協定区域																														
区域内		区域外																															
有		無																															
9地点		4地点																															
	触れ合い活動の場	・「自然との触れ合いの場」として利用されている場所との位置関係、与える影響(600m以内)	32																														

事例 D・E

事例 D		事例 E	
県公共関与産業廃棄物一般廃棄物複合処理施設		自治体一般廃棄物中間処理施設	
自然環境の保全	3段階評価(市街地◎・耕作地○・樹園地△)	保全すべき地域を除外する(9項目)	
生活環境保全	交通量、道路混雑度、旅行速度、幹線道路の有無から評価する。3段階(混雑度1.0・混雑度1.75)	保全すべき地域を除外する(5項目)	
防災面への配慮	液状化の発生予想から評価する。2段階(液状化予想)	望ましくない地域を除外する(5項目)	
運営の節減	都市基盤整備(道路・上下水道の都市基盤の整備状況から評価する。)	社会基盤整備状況	
周辺環境との調和	まちづくり(将来のまちづくりとの整合性から評価する。)	周辺民家の状況(300m)	
		敷地周辺設備(アクセス道路)	
		敷地周辺設備(水道)	
		敷地周辺設備(電力)	
他の施設との調和	広域管内の2つ目の焼却施設との位置関係から評価する。	整備費用	
歴史的財産の保護	文化財等(2.5kmを基準に有る無し)	市町村間格差への配慮	
		他廃棄物処理施設(産業廃棄物処理施設を含め他の廃棄物処理施設の有無から評価する。)	
	教育・福祉施設等	教育施設、病院、住宅群(300m)	
		指定文化財、埋蔵文化財	